

令和7年度放課後等デイサービス 保護者等向け評価アンケート 実施報告

1. 実施概要

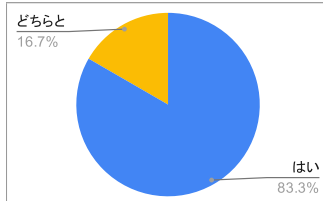
実施事業者/事業所: 株式会社Kaien ティーンズ相模原
実施期間: 令和8月2月1日～2月28日
回答者: 放課後等デイサービス利用者保護者
回答者数: 18名
回答率: 60.0%

2. 回答結果

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。

はい 15名
いいえ 0名
どちらともいえない 3名

※①に関するご意見があればご記入ください

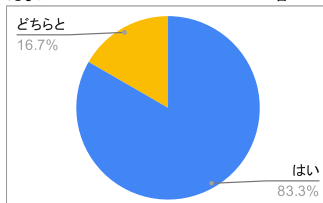


子どもたちが活動している様子を実際に見たことが無いのでわかりませんでした。
他児のPCをカチカチ打つ音がうるさくて集中できにくいとのこと

②職員の配置数や専門性は適切と感じられますか。

はい 15名
いいえ 0名
どちらともいえない 3名

※②に関するご意見があればご記入ください

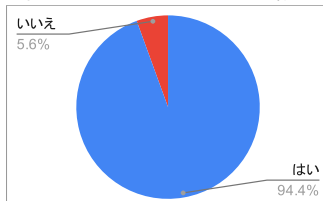


同じく、活動の様子(同じ時間にどのくらいの人数が利用しているなど)がわからないため、上記の通り答えました。

③事業所の設備等は、特性に応じた配慮がなされていますか。

はい 17名
いいえ 1名
どちらともいえない 0名

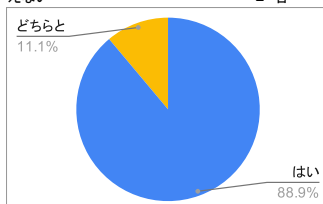
※③に関するご意見があればご記入ください



④子どもと保護者のニーズや利用終了後を見据えた課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていますか。

はい 16名
いいえ 0名
どちらともいえない 2名

※④に関するご意見があればご記入ください

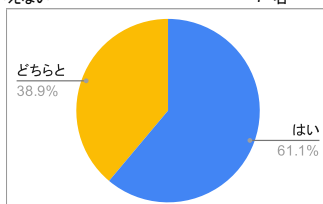


職業体験直後の会話の中で、世界の広がりを感じました。
読み書き困難な子に対する支援をもう少し取り入れてもらえると助かると思います。

⑤プログラムは定期的に見直されていると感じていますか。

はい 11名
いいえ 0名
どちらともいえない 7名

※⑤に関するご意見があればご記入ください

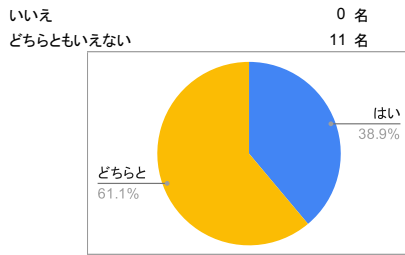


始まったばかりなので何とも言えません
まだ始めたばかりです
入所したたなので、楽しみです。
毎回の報告をいただけるので、どのような活動をしているのか、どのように参加しているのか、興味深く楽しみです。
まだ通所し始めたばかりなので

⑥ティーンズでは地域を問わず同年代のお子さんと双方向に関ることができるオンライン講座をプログラムとして提供しています。このプログラムに内容に満足していますか。

はい 7名

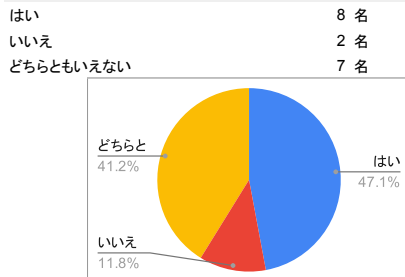
※⑥に関するご意見があればご記入ください



オンライン講座に参加したことがなく、意見をかけない。
オンライン講座を受講した事がない
オンライン講座を利用した事ありません。
時期をみて機会がありましたら検討してみたいです。
受講していないためまだ評価できません。

※3月末で廃止予定

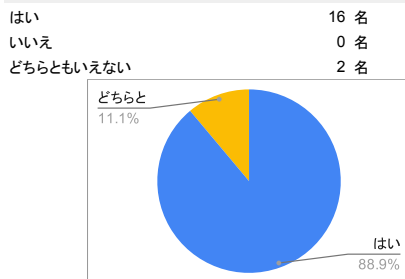
⑦放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか。



※⑦に関するご意見があればご記入ください

学校では常に健常者のお友達と遊んでいます。
障害のない子どもというのが、関わりのある範囲で誰か思い浮かばず。活動の機会がないというには、普段遊んでいるお友だち皆に対して障害児という見方をしたことがないので、質問が難しく解答が微妙です。すみません。
休みの日には、本人が友だちを誘って遊んでいます。

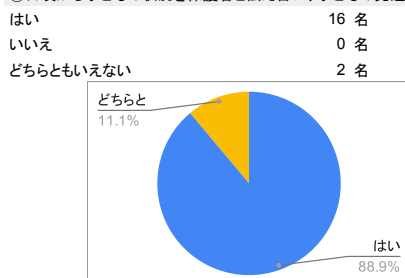
⑧支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか。



※⑧に関するご意見があればご記入ください

利用者負担の支払いについて、先日封書でご案内が届きました。できたら、利用開始の前に、口座振替の銀行口座をお伝えできれば、最初からお支払いがスムーズだったように思います。11月から利用開始し、11月分、12月分、・・・手続きが完了するまで3か月ほど、それぞれ銀行振り込みをしないといけないのはちょっと手間で

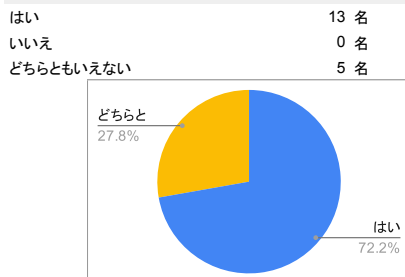
⑨日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか。



※⑨に関するご意見があればご記入ください

活動についてメールで毎回お知らせしていただけるのは、助かります。
疑問や不安に思ったことをお伝えできて、安心です。

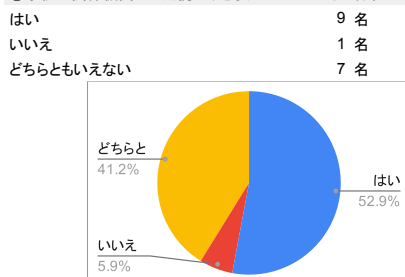
⑩保護者に対し、学校や家庭での生活、将来を見据えた助言等の支援が行われていますか。



※⑩に関するご意見があればご記入ください

これからのかなと思います。
学校訪問を実施してくださりありがとうございました
入所したので、これからは専門家の目で活動を見ていただきながら、相談できるのは心強いです。

⑪学校や関係機関との連携は、必要に応じて適切に行われていますか。

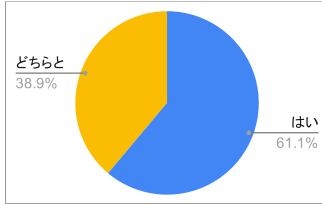


※⑪に関するご意見があればご記入ください

まだ連携した事ありません。
今後、必要なときに、相談させていただきたいです。
まだ通所し始めたばかりなので
学校の先生とは面談の場を設けてもらうようになっています。

⑫ペアレントトレーニングやウェブセミナー、保護者会の開催は、保護者同士の連携や家族に対する支援として適切ですか。

はい 11名
 いいえ 0名
 どちらともいえない 7名



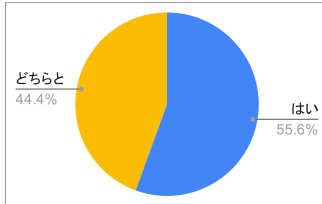
※⑬に関するご意見があればご記入ください

参加した事がない
 特に参加した事はありません。
 今後、検討したいです。
 まだ利用したことがないので

※2月より開始

⑬子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか。

はい 10名
 いいえ 0名
 どちらともいえない 8名

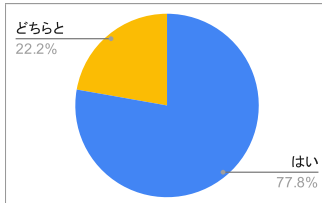


※⑬に関するご意見があればご記入ください

苦情を言った事がない
 苦情だと感じる事はありません。
 苦情をお伝えしたことがないので
 とくに苦情などのことは聞いていません

⑭保護者や子どもに対しそれぞれ個別の面談やアンケートを行っているが、思いを伝える場として満足していますか。

はい 14名
 いいえ 0名
 どちらともいえない 4名

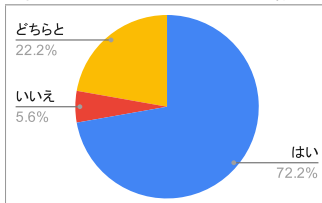


※⑭に関するご意見があればご記入ください

まだ、入ったばかりなので面談等もしていないのでわかりません。

⑮HP定期的に最新情報やメールを通じ、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか。

はい 13名
 いいえ 1名
 どちらともいえない 4名

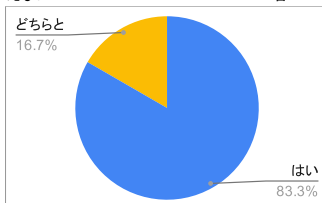


※⑮に関するご意見があればご記入ください

毎回、丁寧に様子を伝えていただきありがとうございます。

⑯個人情報に十分注意していますか。

はい 15名
 いいえ 0名
 どちらともいえない 3名

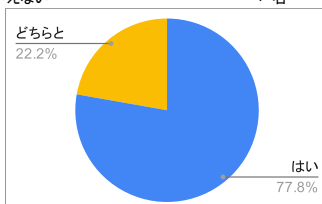


※⑯に関するご意見があればご記入ください

分からない
 注意してもすぎることはないと思うので、アップデートし続けていただきたいです。

⑰緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか。

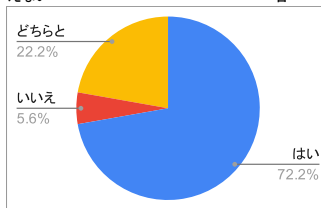
はい 14名
 いいえ 0名
 どちらともいえない 4名



※⑰に関するご意見があればご記入ください

⑩非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。

はい 13名
いいえ 1名
どちらともいえない 4名



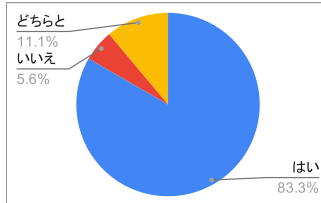
※⑩に関するご意見があればご記入ください

まだ避難訓練に参加した事がありません。
これからの参加とします。病院が近くて安心です。
これから避難訓練があるようです

※3月初回実施

⑪子どもは通所を楽しみにしていますか。

はい 15名
いいえ 1名
どちらともいえない 2名

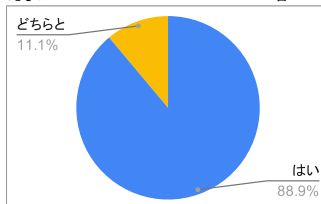


※⑪に関するご意見があればご記入ください

場と先生・利用のお子さんに慣れる途中です。集中力を使うのか、週末の職業体験後は、午睡をしています。

⑫ティーンズ にしかできないサービスが提供されていると感じますか。

はい 16名
いいえ 0名
どちらともいえない 2名

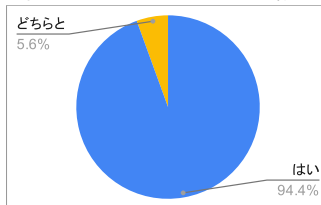


※⑫に関するご意見があればご記入ください

参加したことはないが、職業体験等の実施は良いと思う
なかなか、家族間で教えてあげられない体験をさせてもらっていると思います。ありがとうございます。
他と比べたことは無い、日がまだ浅いので分かりません。
他の放課後デーサービスを利用したことがないので分かりません。

⑬ティーンズの支援に満足していますか。

はい 17名
いいえ 0名
どちらともいえない 1名



※⑬に関するご意見があればご記入ください

まだ、通い始めたばかりなのでよくわかりません。

3. 事業所考察

本アンケート結果に基づき、以下の3点を事業所運営における「強み」と「重点的な改善点」として考察しました。

1. 強み(高評価の項目)

【支援の質】支援計画の実行(94.4%が「はい」)および個別の目標達成(88.9%が「はい」)の項目で極めて高い満足度が得られました。
これは、職員が計画に沿った適切な支援を高いレベルで提供できていること、およびその成果が保護者からも認知されていることを示しており、事業所の根幹となる強みです。
【連携】保護者との連絡体制(88.9%が「はい」)も高評価であり、円滑なコミュニケーションが保たれていることが確認されました。

2. 重点的な改善点(「どちらともいえない」の割合が高い項目)

【活動の多様性】活動の種類(「はい」38.9%、「どちらともいえない」61.1%)の項目で、過半数が明確な評価を避けている状況です。活動内容のバリエーションや目的が不明確である可能性があり、活動内容の再検討と、その効果を保護者に積極的に伝える工夫が急務です。
【相談体制】相談体制(「はい」47.1%)の評価が50%を下回り、「どちらともいえない」も41.2%と高い水準です。保護者が気軽に相談できる体制づくり(例:オンライン相談の導入、相談窓口の周知)と、相談対応の質の向上・明確化が必要です。

3. 今後の提言

高評価を維持しつつ、改善が必要な「活動の種類(LD支援の強化等)」と「相談体制」を最優先で対応することで、利用者満足度全体のさらなる向上を目指します。

本結果については令和8年3月23日に事業所内会議に置いて共有、討議を行いました。